

住みやすいまちを目指して さまざまな事業を実施しました



高齢者バス無料乗車証を交付
70歳以上の人が対象で、3月末現在で14,188人に交付しました。



屈折はしご付消防自動車を更新
7階建ての高さまで届き、折れ曲がることで電線などの障害物を避けながら救助できます。



豊成小学校を移転改築
一般開放するプールや地域ボランティア室を設けるなど、地域のシンボルとして、より開かれた学校になりました。



おむつの無料収集を開始
有料の燃やすごみだった紙おむつ、布おむつなどを無料収集化しました。

▽障害者の就労支援などの場として、旧第六中学校を改修▽認知症高齢者グループホーム建設に対する支援▽幼稚園就園奨励費の補助単価拡充▽豊成保育所や豊成児童保育センターの移転改築▽入所児童増加に対応した児童保育センター

「健康でやすらぐまち」を 目指して

▽十勝農業のイメージアップ戦略として「とかち農業ストーリー」を作成▽十勝型農業生産工程管理手法（十勝型GAP）の導入促進▽ばんえい競馬の継続開催に向けた帯広市ばんえい競馬検討委員会を設置▽帯広広小路商店街振興組合のアーケード改修工事に対する支援

「活力あふれるまち」を 目指して



豊成保育所

▽稲田南福祉センターの駐車場整備▽大分市姉妹都市締結45周年やマディソン市国際姉妹都市締結5周年を記念して、相互訪問などを実施―など

「自立と協働のまち」を 目指して

▽帯広市と管内18町村が十勝定住

▽小中学校校舎の耐震補強、石綿除去▽情緒学級、知的学級の開設▽世界ジュニアスピードスケート選手権大会などの開催▽新たな学校給食調理場基本計画策定―など

「生涯にわたる学びのまち」を 目指して

▽おびひろ住宅づくり奨励金として、一定条件を満たす若年世帯に地域商品券を交付▽第62回北海道植樹祭inおびひろの開催▽空港のロータリー除雪車の更新―など

「快適で住みよいまち」を 目指して

▽第11回全国菜の花サミットinとかちの開催▽一般家庭の省エネコンテストの実施▽市内小学校での、ごみの収集体験や分別体験の実施―など

平成23年度帯広市の 決算と財政状況

決算は9月25日から開催の定例市議会でも審議されています。
平成23年度に実施した施策と決算、財政状況をお知らせします。

▽問い合わせ 財政課（市庁舎5階、電話65・4106）

データで知る帯広

8月末の人口と世帯数 
人口／169,050人
（前月比+66人）
男：80,955人
女：88,095人
世帯：83,443世帯
（前月比+64世帯）

8月の火災発生件数 
1件（前月比－5）

8月の家庭ごみ排出量 
ごみ量 2,602 t
（前年同月比－143 t）
資源ごみ（Sの日）量 651 t
（前年同月比＋24 t）

●● 今月の紙面 ●●

フードバレーについて
一緒に考えましょう 11



3方式、8会場で、市長と市民の皆さんが、まちづくりについて意見交換する地区懇談会を開催します。フードバレーとかちについて一緒に考え、話し合います。

市の職員数と給与 6～7

保育所（園）などの平成25年4月入所の申し込み 7

乳がん・子宮がんをもっと知ろう 8

図1 一般会計の歳入・歳出

歳入 総額829億9999万円
前年度より2億1861万円(0.3%)減↓

歳出 総額823億8203万円
前年度より2億2789万円(0.3%)増↑

差し引き 6億1796万円

歳入から歳出を差し引いた6億1796万円を平成24年度に繰り越しました。(うち2664万円は、平成23年度から平成24年度に繰り越した事業の財源)

市税 215億2575万円
市民や法人に納めていただいた税金
前年度比2億2409万円(1.1%)増↑

たばこ税増税などで増加

地方交付税 154億2520万円
人口や税収などに応じて、国から交付されたお金
前年度比3億8476万円(2.4%)減↓

国から交付された地方交付税と国庫支出金が減少

国庫支出金 132億6271万円
国が必要と認めた事業に国から配分されたお金
前年度比11億2442万円(7.8%)減↓

諸収入 110億7968万円
貸したお金の元金利子や給食費など
前年度比3億407万円(2.8%)増↑

市債 89億3668万円
長期的な借入金
前年度比6億9200万円(7.2%)減↓

道支出金 52億2456万円
道が必要と認めた事業に道から配分されたお金
前年度比7億2095万円(16.0%)増↑

その他 75億4541万円
施設の使用料や基金利子など
前年度比7億3346万円(10.8%)増↑

民生費 286億378万円
福祉や生活保護などに使われたお金
前年度比9億8018万円(3.5%)増↑

障害者の自立支援給付の増加や、豊成保育所移転改築などで増加

公債費 101億1368万円
借りたお金の返済金
前年度比4億2650万円(4.0%)減↓

教育費 94億2629万円
学校教育や生涯学習に使われたお金
前年度比6126万円(0.7%)増↑

まなび野公園などの整備が終了し減少

商工費 89億514万円
商工業や産業、観光などの振興に使われたお金
前年度比3億8129万円(4.5%)増↑

土木費 67億193万円
道路や公園などを整備したお金
前年度比5億3174万円(7.4%)減↓

防災無線のデジタル化整備の終了などにより減少

衛生費 42億5570万円
予防接種やごみ処理などに使われたお金
前年度比1億8170万円(4.1%)減↓

総務費 40億3431万円
庁舎管理や防災などに使われたお金
前年度比2億7411万円(6.4%)減↓

農林水産業費 34億5332万円
農業振興や土地改良事業などに使われたお金
前年度比5億1006万円(17.3%)増↑

強い農業づくり事業などで増加

その他 68億8788万円
議会や消防などに使われたお金
前年度比2億9085万円(4.1%)減↓

穀類等乾燥調整貯蔵施設整備の支援などで増加

特別会計の実質収支も黒字

市の会計には、一般会計のほか、国民健康保険会計や介護など9つの特別会計がある。特別会計は、保険料やいった利用者が負担するを主な財源としている。

※歳出の各項目には、関係する職員の給与費を含めています。

会 計 区 分		歳 入	歳 出	翌年度繰越 事業財源	実 質 収 支
一 般 会 計		829億9999万円	823億8203万円	2664万円	5億9132万円
特 別 会 計	国民健康保険会計	183億5971万円	180億7733万円		2億8238万円
	後期高齢者医療会計	17億9593万円	17億2969万円		6624万円
	介護保険会計	104億8410万円	104億2692万円		5718万円
	中島霊園事業会計	4450万円	4450万円		
	簡易水道事業会計	5892万円	5892万円		
	農村下水道事業会計	1億794万円	1億794万円		
	ばんえい競馬会計	108億6388万円	108億6297万円		91万円
	駐車場事業会計	1億8833万円	1億8833万円		
	空港事業会計	6億4217万円	6億4217万円		

狂言ワークショップ プロ狂言師から、狂言の中で歌われる謡や小舞を学びます。 対小学生以上 日10月28日(日)、9時30分～11時30分 場市民文化ホール(西5南11) 定30人 申・問10月20日(土)までに、電話で帯広狂言づくしの会・松井(☎090・6699・7122)へ

表2 健全化判断比率

実質赤字比率

平成23年度

－

「－」は黒字決算を示します

※過去5年とも黒字のため比率はなし。

早期健全化基準

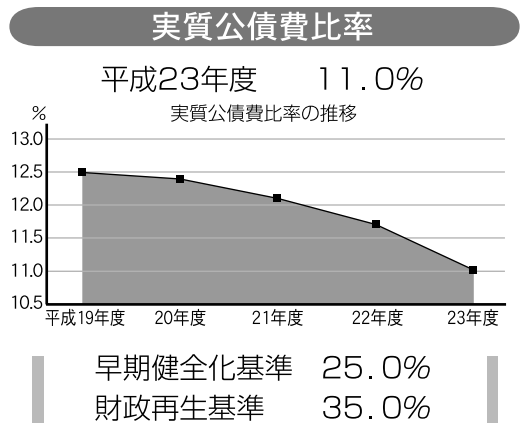
11.46%

財政再生基準

20.00%

普通会計の実質的な赤字額が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。

家計簿に例えると、年間の赤字額の合計が収入の合計に占める割合になります。



一般会計などが負担する長期の借入金の返済や、それに準ずる支出が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。

家計簿に例えると、住宅ローンなどの返済額の合計が年間の収入の合計に占める割合になります。過去3カ年平均を表しています。

連結実質赤字比率

平成23年度

－

「－」は黒字決算を示します

※過去5年とも黒字のため比率はなし。

早期健全化基準

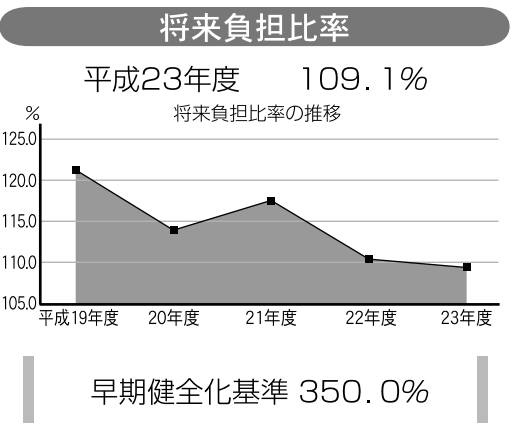
16.46%

財政再生基準

30.00%

普通会計のほか、特別会計や企業会計も含めて計算した実質赤字比率です。

家計簿に例えると、自分の世帯のほか、親や子どもの世帯を合わせた赤字額の合計が、収入の合計に占める割合になります。



一般会計などが抱える実質的な負債の残高が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。

家計簿に例えると、住宅ローンなどの借入金の残高が、現在の年収の何%になるかを示す割合になります。

帯広市の財政状況

自治体の財政状況を比較する資料に、各自治体で公表している健全化判断比率と財務諸表があります。

健全化判断比率が示す、財政の健全さ

普通会計(※1)による財政状況の公表だけでなく、自治体全体の財政状況を把握し明らかにするため、財政健全化法による4つの指標の公表が各自治体に義務付けられています。(表2)

市の平成23年度の財政状況はいずれも早期健全化基準(※2)を下回っています。

※1 普通会計
全国の自治体の財政状況を比較するための会計の基準です。帯広市では一般会計に中島霊園事業会計と空港事業会計を加えたものです。

※2 早期健全化基準
4つの健全化判断比率のうち一つでも基準値を上回ると、財政健全化計画を定め、財政の健全化に取り組まなければならないと政。財政破たんとならないように設けられた危険水準を表したものです。

企業会計の視点で見る財務諸表

現行の現金主義による指標だけではなく、企業会計的な発生主義や複式簿記の考え方に基づいた「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」の4つの財務諸表を1年遅れで作成しています。

財務諸表には、公正な評価による資産や負債の蓄積状況のほか減価償却費など実際に現金の支出を伴わない隠れたコストも含まれています。

貸借対照表から見る財政状況

4つの財務諸表のうち、バランスシートと呼ばれる貸借対照表を見ると、市が所有している施設などの資産価値やこれから返済しなければならない地方債などの負債がどのくらいあるのかが分かります。(表3)

帯広市の資産は前年度と比較して約3億円減少していますが、このほとんどが経年による資産価値の目減り分です。

また、市民1人当たり計算すると、資産は約226万円、負債は約66万円、純資産は約160万円となります。

財務諸表は、市ホームページなどでも公表しますので、ぜひご確認ください。

これからの帯広市の財政

帯広市の財政は、健全化判断比率の推移や資産に占める純資産の割合などから見て、健全な状況を維持していると考えられます。

しかし、歳入の大きな部分を占める国からの交付税などが減少している上、高齢化の進展などに伴い、社会保障に係る費用などは増加を続けていて、今後の財政の見通しは楽観できる状況にはありません。

そのため、今まで以上に、自主財源の確保や限られた予算の中で、効果的・効率的な予算を執行し、皆さんのニーズに対応しながら「フードバレーとかち」をはじめ、帯広市全体を元気にしていくための取り組みを進めていきます。

表3 平成22年度帯広市普通会計財務諸表

貸借対照表(バランスシート)…市が所有している施設などの資産価値やこれから返済しなければならない地方債などの負債、すでに返済を終えた純資産がどの程度あるか表したものの

資産の部（年度末に所有している資産の価値）				負債の部（これから返済していく金額）					
	平成22年度	平成21年度	増 減		平成22年度	平成21年度	増 減		
金融資産	(1) 資 金	10億6446万円	1億9180万円	8億7266万円	1 流動負債	(1) 賞与引当金	5億4765万円	5億7533万円	-2768万円
	(2) 債 権 未収金、貸付金など	28億3328万円	31億6154万円	-3億2826万円		(2) 地方債(短期)等 翌年度償還予定地方債など	82億3948万円	87億4757万円	-5億809万円
	(3) 有価証券	2億8023万円	2億8155万円	-132万円	2 非流動負債	(1) 地方債 翌々年度以降償還予定地方債	885億9561万円	871億3626万円	14億5935万円
	(4) 投資等 出資金、基金・積立金など	162億6846万円	160億3372万円	2億3474万円		(2) 借入金	3億3951万円	5億8971万円	-2億5020万円
2 非金融資産	(1) 事業用資産 庁舎、学校、保育所、体育施設、 市営住宅など	1410億3651万円	1409億2388万円	1億1263万円	(3) 引当金 退職手当引当金など	133億2203万円	143億8276万円	-10億6073万円	
	(2) インフラ資産 道路、公園など	2185億4858万円	2197億6367万円	-12億1509万円	負債合計	1110億4428万円	1114億3163万円	-3億8735万円	
資産合計				7割が償還済 純資産の部（これまでに返済を終えた金額）					
	平成22年度	平成21年度	増 減		平成22年度	平成21年度	増 減		
純資産合計				2689億8724万円				2689億2453万円	6271万円
負債・純資産合計				3800億3152万円				3803億5616万円	-3億2464万円

市民一人当たりに置き換えて見ると(各年度末の住民基本台帳人口 平成22年度16万8464人、平成21年度16万7395人で換算)

資産の部	平成22年度	平成21年度	増 減	負債の部	平成22年度	平成21年度	増 減
現金(資金)	6319円	1146円	5173円	ローンのうち翌年度返済予定額(流動負債)	5万2160円	5万5694円	-3534円
貸したままになっているお金(債権)	1万6818円	1万8886円	-2068円	ローンのうち翌々年度以降返済予定額(非流動負債)	60万6997円	60万9987円	-2990円
お米券などの商品券(有価証券)	1664円	1682円	-18円	負債合計	65万9157円	66万5681円	-6524円
定期預金(投資等)	9万6569円	9万5784円	785円	純資産の部	平成22年度	平成21年度	増 減
家や土地、自動車(非金融資産)	213万4492円	215万4709円	-2万217円	ローンの返済が終わっている資産(純資産)	159万6705円	160万6526円	-9821円
資産合計	225万5862円	227万2207円	-1万6345円	負債・純資産合計	225万5862円	227万2207円	-1万6345円

JICA海外ボランティア体験談&説明会 発展途上国の国や人づくりに貢献したい人を募集します。日10月14日(日)、①40歳～69歳対象、10時～12時、②20歳～39歳対象、14時30分～16時30分 場・問国際協力機構(JICA)北海道国際センター(帯広)(西20南6、☎35・1210)